

# 絆

赤井むつみ後援会便り第54号

笑顔あふれる温かい町に！

2021年12月発行



## 今年も大変お世話になり、 ありがとうございました！

10月の選挙（無投票）を含め、今年も本当にお世話になり、ありがとうございました。心から感謝しております。日々の時間はあっという間に過ぎ、議員も4期目となってしまいました。

☆会派・・・今回は7人の会派、4人の会派、2人の会派と3つの会派ができました。私は1期目の時から会派には属せず1人です。でもおかげさまで、議会運営委員会や会派代表者会議にも参加させていただいています。

☆常任委員会・・・引き続き、文教厚生常任委員会（委員長）と広報広聴常任委員会に入ることになりました。

今まで改選後は、所属する委員会や委員長が決まるまで少し余裕があったのですが、今回『熊石国保病院が診療所に！』という報道を受けて、熊石地域では署名活動が始まり、議会もまだ正式に委員長等が決まっていなかったため、議員有志という形で熊石地域の皆さんと意見交換をしたり、委員会が発足後、すぐに国保病院スタッフや敬愛会理事の皆様と意見交換するなど、あわただしいスタートとなりました。でもおかげさまで、今まで見えなかったところも少しずつ見え、今後、負の遺産を引き渡すことがないよう、持続可能なまちづくりをするための光が見え始めてきました。この4年間は、個人はもちろん、委員会として積極的に皆さまと意見交換をし、皆さまと共に力を合わせて、より良いまちづくりを目指してまいりますので、4年間、よろしくお願いいたします。

### <少子化が加速！>

毎年生まれてくる赤ちゃんの数が少しずつ減り、100人を切りそうと心配されていたのですが、今年はその7割程度しか生まれていないそうです。いろいろな子育て政策を考えても、若者が減ってきているので、子育て支援金だけでは、出生数が増える可能性はありません。もちろんこの問題は八雲町に限らず、全国的な悩みです。地域から子どもの声を消さないように！



### ○ \* <成人式が2回！> \*

○ 2021年の成人式は、コロナ感染対策のため延期され、結局1年間の延期となり\*  
\* ました。そのため、2022年1月に\*  
○ は、成人式が2回行われます。

○ 1月3日（月）（令和3年度分）

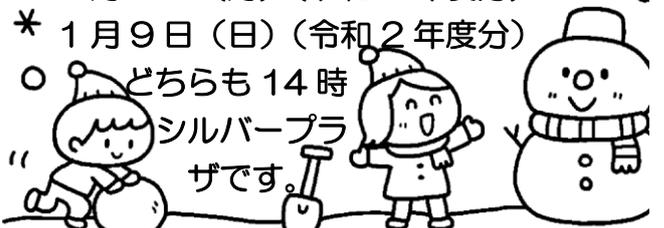
\* 1月9日（日）（令和2年度分）

○ どちらも14時

○ シルバープラ

○ ザです。

○



## 一般質問

### ① 『子どもに投資を！』

国の政策も子育て支援重視になりつつありますが、八雲町も、子育て支援が充実してきたと思います。それは急激に進む人口減少、少子化対策のためですが、実際、給食費や保育料、医療費等が無料になって出生数の増加につながっているのでしょうか？

無料になってまだ間もないので、結論を出すには早すぎますが、時代とともに、必要な支援の内容も変わってきていると思います。文厚委員会としても子育て支援の提言をしてきたので、今後十分な検討が必要ですが、バラマキのような支援方法では、少子化対策にはつながりません。どの子ども意欲的に学べるように教育環境を整えるなど、直接子ども達への投資が必要になるとと思いますが、町長はどのようにお考えでしょうか？

#### 答弁

人口減少のスピードを緩める、そして安心して子育てができる環境づくりのため、給食費無料、保育料の軽減、高校生までの医療無料化を行ってきた。今後は、給付型以外の子育て・教育環境整備対策等についても中長期的な財政見通しを考慮しながら検討する。人を育てることは大切なので、来年1年かけて生まれてから高齢になるまでサポートできる、縦割りではなく連携しながらやっていく仕組みを作っていく。

#### 再質問

専門の課を作ることに期待はしますが、協働のまちづくり推進のためにも、是非町民と連携して地域全体で育てることができる第3の居場所を作り、そこに投資し育てていく必要があるのではないのでしょうか。

#### 答弁

大変難しいと思うが、まずは少しずつでもやっていくということと、町としてしっかりと取り組みたい思いもあるので、常任委員会や地域の方たちと情報交換しながら、子育てしやすいまち、より暮らしやすいまちを目指していく。



国ではコロナ対策の一環として、18歳以下の子どもに一人10万円を給付することになり、八雲町では28日に一括で給付することが決まりました。どこのご家庭でも、10万円をいただくと助かりますが、子ども達のためには単なるバラマキではなく、将来どこへ行っても自力で生きていける力を身に着けることが大切だと思います。

結婚する若者も減っているなので、今年度の出生数は70人程度と予想されるのも、当然の結果なのですが、このままでは危機的な状況になりますよね。是非、安心して産み、育てられる環境をみんなで考え、作っていきましょう！子どもは地域の宝です！

《子育て世代に嬉しい制度ランキング》「生活ガイド.com」のデータより

- 1 屋内大型遊具がある施設
- 2 病児・病後児保育の送迎サービス補助
- 3 一時預かりや家事サポートなどが無料で利用できるクーポンがもらえる制度
- 4 学習塾などの授業料助成
- 5 幼児期からの英語教育

## ② 『より良い病院をめざして』

文教厚生常任委員会において、熊石国保病院の基本構想・基本計画が示され、議会で実施設計のための予算が可決しているにもかかわらず、動きがストップしたまま。なぜストップしているかの説明もなく、委員会の中で「人口減少に備え、用途変更ができる建て方の工夫を！」という意見が出たことに対しても返答のないことに疑問を持っています。

今後いろいろな説明もあると思いますが、委員会に示された基本構想、基本計画の内容がそのまま実施設計に盛り込まれるのでしょうか？それとも、今後さらに多くの皆様のご意見をお聞きし、変わる可能性はあるのでしょうか？

### 答弁

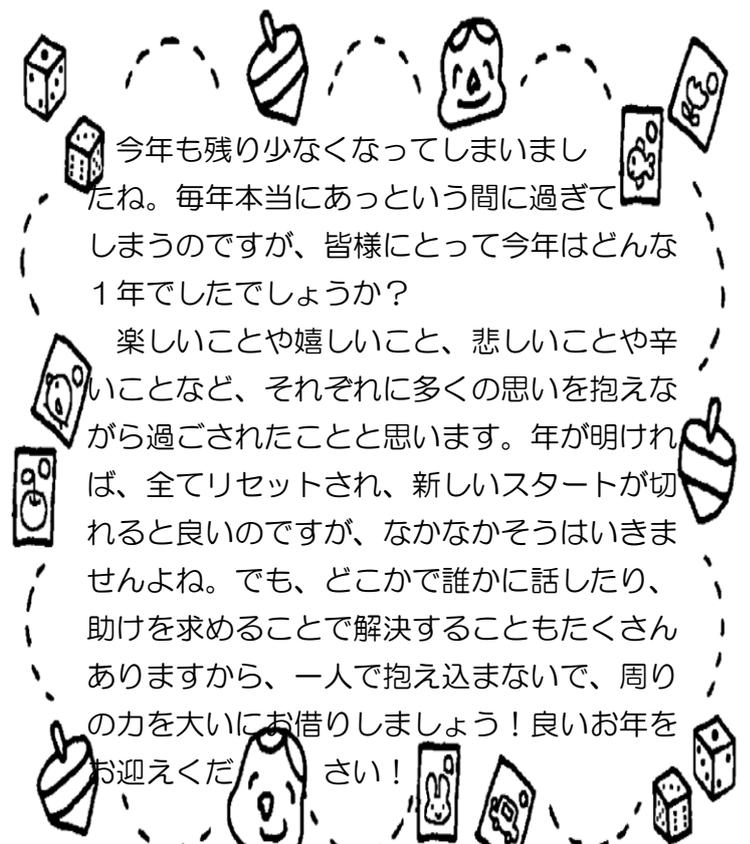
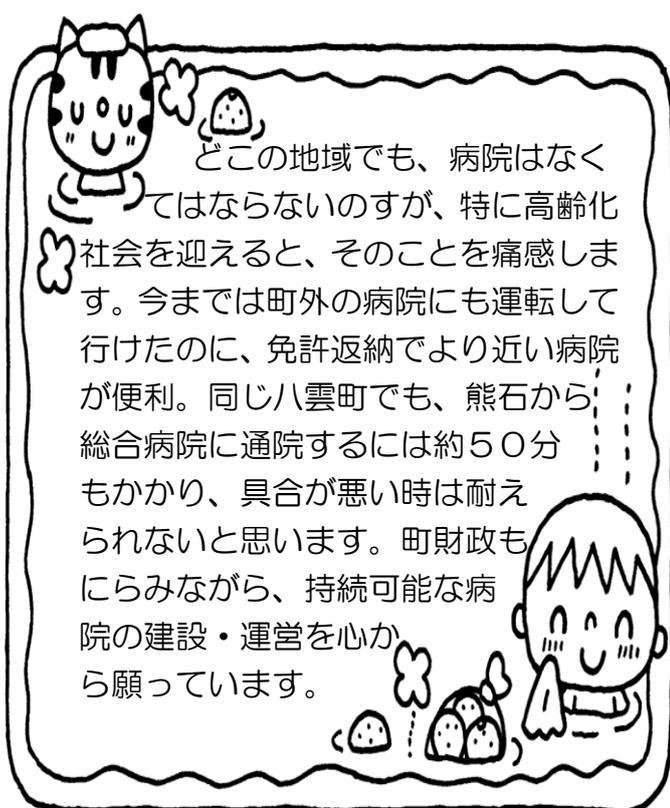
熊石国保病院は本院建設から50年が経過し、経年劣化が著しく建て替えが必要と判断。令和元年に基本構想・基本計画を策定し、令和2年には基本設計業務に取り組み、病院建替事業を進めてきた。基本設計段階では、建設予定地を現病院敷地中心に地上3階建て、保有する病床数は45床と定め文厚委員会でも報告。実施設計には、基本構想・基本計画及び基本設計の内容を基礎とするが、将来にわたり地域医療を確保していくための適切な病床数については慎重に判断したい。

### 再質問

良い病院を建てるためには時間をかけることも大事だと思いますが、町長は老朽化が激しいため、前倒して基本計画等を策定したと思います。病院は命に直結する場所ですし、スタッフの皆さんも自分たちの提案の実現をとっても楽しみに期待しているので、是非、その思いを裏切らないようになるべく早く取り組んでほしいと思いますがいかがでしょうか？

### 答弁

私は、町の事業で一番難しいのは病院だと認識している。病院の運営経営は、町長がいくら頑張ってもどうしようもないことがたくさんある。45床を提案し、文厚員会から用途変更の話が出たときに、もう少し議論しておけばよかったと反省している。建物を建てるのが目的ではなく、熊石の医療を続けていくことが最大の目的なので、地域の皆さんはもちろん、スタッフや院長先生とじっくり話し合って進める。



## 《補正予算の主なもの》

- ◎アイヌ農林漁業対策事業補助金 5360万6千円  
(昨年に続いて自動耳づり機械 17 台分)
- ◎平田内川小水力発電会社(仮称)への出資金 1100万円  
(熊石に本社を置き、小水力発電に取り組む)
- ◎冬季福祉手当給付事業 380万円  
(燃料費高騰により、1件5千円から1万円にアップ)
- ◎小学校備品購入費 336万2千円 (各小学校の保健室にエアコン設置 6台)
- ◎中学校備品購入費 274万円 (各中学校の保健室にエアコン設置 4台)

- ※ コロナ感染対策のため、新年交礼会、熊石あわびの里フェスティバル、八雲山車行列、花火大会、平和学習実行委員会補助金、体育協会の70周年記念事業、日本ハムファイターズ八雲後援会支援事業補助金等、中止になった事業の予算は使われませんでした。
- ※ 小水力発電は、八雲町独自で行ったほうが良い!という意見が議会から出ましたが、ノウハウを知っている方がいないため、専門の会社とタッグを組み、八雲町も出資して行う形になっています。本社は熊石に置くということで、多少の雇用や人の動きなども予想され、熊石の活性化につながってくれることを心から願っています。
- ※ 福祉灯油は、灯油の値段の高騰によるものですが、生活保護を受けている方たちにとっても値上げは同じです。しかし、冬季手当ががついているという理由で上乗せはありません。無理して上乗せすると、臨時収入とみなされ保護費がその分カットされてしまうそうです。なんだかとても矛盾を感じますね。
- ※ 委員会としては、温暖化による気温や湿度の上昇から、学校の教室にエアコン設置を提案していますが、今回各学校の保健室に設置されることになりました。今後、各クラスにも設置され、快適な学習環境になると良いですね!

2022年は寅年。地道に自分磨きをし、自身を成長させることで、大きく飛躍できる年だと言われています。仕事も趣味もその他何でも、どんどん努力して、大きく成長していきたいですね。

特に子ども達には、人と比べることなく、自分自身の良さを発見し、自信をもっていろいろなことに挑戦してほしいですし、また、そうできる環境作りに、私も積極的にかかわってきたいです。

### 2022年もよろしくお願ひ致します!

来年も、広報紙の取材や文厚委員会の一般会議等でより多くの皆さまとお話が出きればと思っております。今、リモートの学習会もしておりますので、是非、そうしたことも生かしていきたいです。どうぞ、遠慮なくどんどん声をかけてくださいね!よりよいまちづくりは、町民みんなで作上げるものです。共に頑張りましょう!



赤井むつみ後援会連絡先 八雲町住初町126

FAX=62-3632 電話=080-5588-2090(赤井)

赤井自宅 栄町56-12(栄町3区) ☎ 63-2090

ホームページは「赤井むつみ」で検索してください!